

「大好きな国立のために」

国立第一中学校 2年 新島 瑠菜

私は、国立で生まれ、途中何度か引っ越したりもしましたが十年弱国立に住んでいます。だから、私は国立が大好きです。

国立のいいところはあげ出したら、きりがありません。例えば「街全体が明るく、優しいこと」です。桜が満開の大学通りや歩道橋で桜を見ていると、近くにいたおじいちゃんやおばあちゃんが「キレイだね。」と話しかけてくれたことがありました。いつもは周りにいる“見しらぬ人”と、つながれた様な気がして嬉しくなりました。こうやって人の輪がどんどん広がって、みんながもっと笑顔になればいいな。と思います。

もう一つは、「自然が豊かなこと」です。これは先程の話とつながることかも知れませんが、ママ下湧水や谷保天満宮、大学通りなど、自然が豊かな所が国立には沢山あります。

小さい頃、私はよく祖母と一緒に大学通りを散歩しました。すると、その散歩の途中で祖母は花を指さしながら、「この花の名前、昨日一緒に覚えたね!!なんだっけ?」と問題を出してくれました。「分かった!!これは、ビョウヤナギだ!!」「あっ!!これはヤマブキだね!!」と花の名前当てゲームが楽しかったのを覚えています。今でもその花を見ると、「あっ...これはあの時の花だ。」と思い出してなんだかほっこりとした気分になります。今は、そんなことをする機会はなくなってしまいましたが、これも自然の豊かな国立だからできる貴重なことだと思います。春は、鮮やかなピンク色のじゅうたんになり、秋には、黄色のつやつやの布団になる大学通りも、私たちが特別に見ることのできる宝物です。

だから、その宝物を守ってゆくために、今出来ることが何なのかを、これから大人になってゆく私たちが考えてゆくことが大切なんじゃないかと思いました。

私は、この大好きな思い出いっぱいの国立を守ってゆくために、小さくても自分ができるボランティアなどに参加してゆきたいと思います。小さなことでも、一人一人が行動すれば、大きな力になるからです。

だから、今回をきっかけに自分の身の周りから、出来ることをコツコツ取り組もうと思います。